

令和3年度全国学力・学習状況調査 結果、考察および対策について

きびしい結果となっていますが、努力を重ねることで必ず向上します！

- ・国語、算数・数学ともに、正答率は全国平均や県平均を下回り、学年が進むにつれ差が大きくなる。
- ・読むこと、書くことへの抵抗がある。
- ・文章を要約して答えたり、自分の考えをまとめて答えたりすることが苦手。
- ・家庭での勉強時間や読書の時間がかなり少ない。

子どもたちが自身の可能性を伸ばし、夢や希望を実現していく上で、ベース（土台）となる力を身に付けるための継続した取組が必要です。

方策は、まず学びの基礎となる3つの力をつけること！

★「読み書き」の力（基礎的読解力）をつける

- ・読書の機会をつくる…新聞コラムなど短文を読む、教科書を読む、物語や伝記を読む、など。
- ・書くことに慣れる…日記を書く、ミニ感想文を書く、教科書の物語や説明文をノートに写す、など。

★「一人勉強」する力をつける

- ・自分で決めて（計画）、自分でやる（実行）、振り返り（見直し）をして、よりよい学習につなげる（改善）。

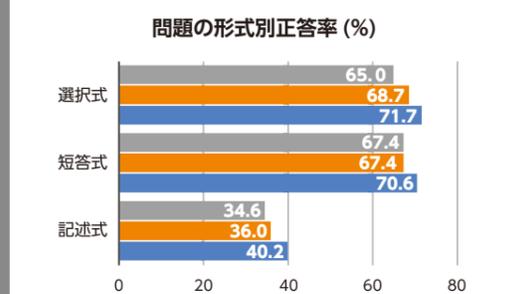
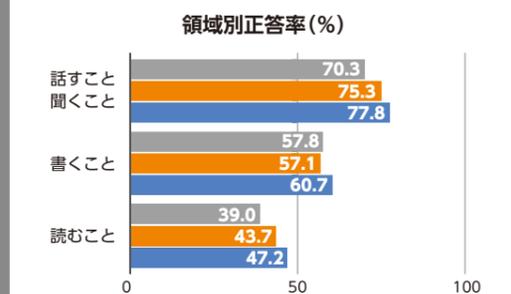
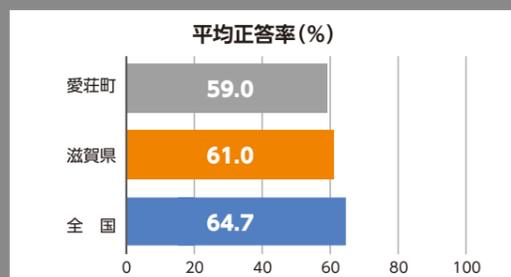
★ねばり強く取り組む力をつける

- ・目標を立てて、くり返しチャレンジする。・分からない問題でもじっくりと考えてみる。
- ・自分なりの考え方や解き方、方法で解決したり、表現したりする。・脱「何も書かない」。何か書いてみる。

教科に関する調査の結果

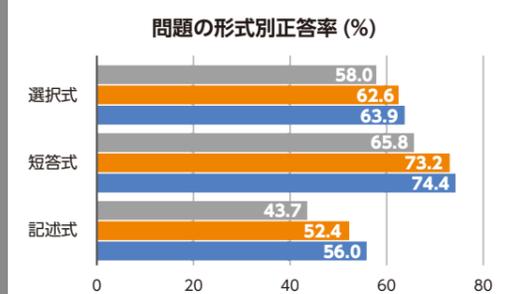
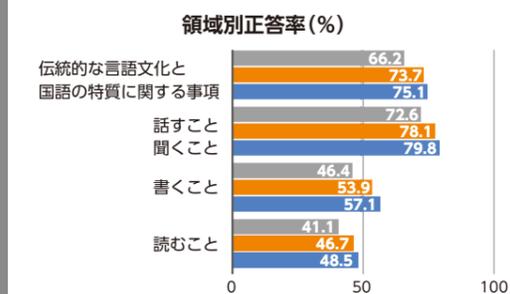
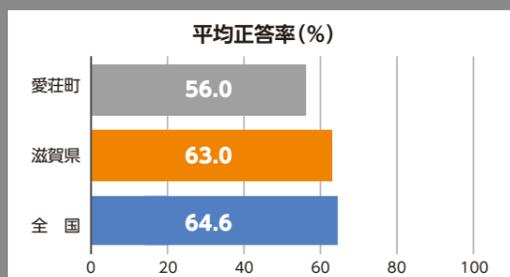
国語

小学校（全14問）



小学校 では、目的に応じて話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること、思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと、漢字を文の中で正しく使うことはできていました。

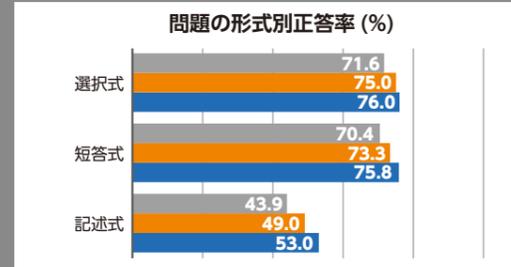
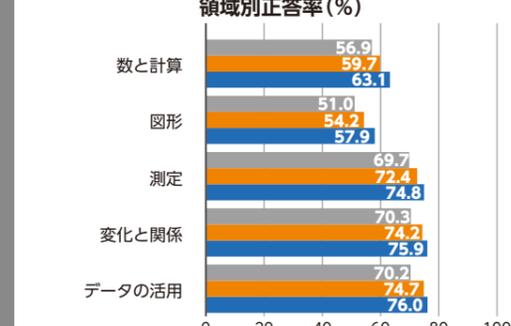
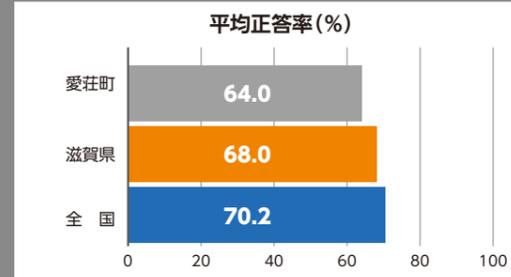
中学校（全14問）



中学校 では、話合いの話題や方向を捉えること、質問の意図を捉えることはできていましたが、適切な発言について考えることに課題がありました。文脈に即して漢字を正しく読むことはできていました。

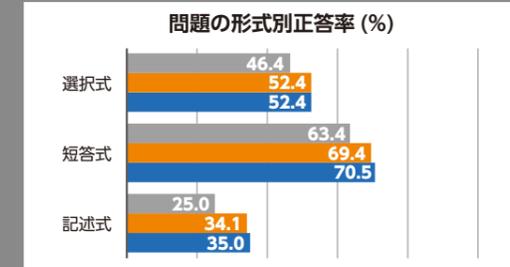
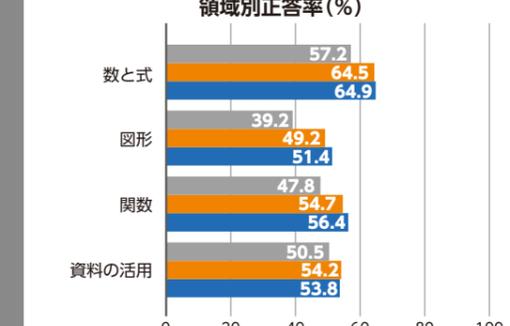
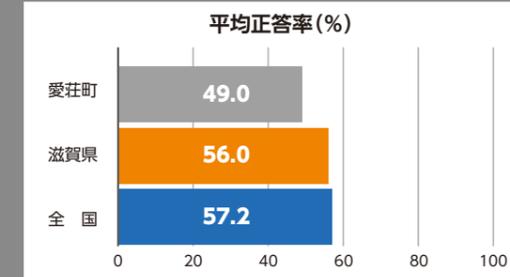
算数・数学

小学校（全16問）



小学校 では、棒グラフから数量と項目間の関係を読み取ることや、速さが一定であることを基に道のりと時間の関係について考察することができていました。

中学校（全16問）



中学校 では、整式の加法と減法の計算や、具体的な場面で一元一次方程式をつくることできていました。全国平均を上回る結果で、基礎基本の定着に向け、明るい材料と言えます。